

2026年5月15日

各位

会社名 前澤化成工業株式会社
 代表者名 代表取締役兼社長執行役員 田中 理
 (コード番号 7925 東証プライム市場)
 問合せ先 経営企画室 室長 大庭 広紀
 (TEL 03-6264-9911)

通期業績予想と実績との差異
 および剰余金の配当（期末配当・増配）に関するお知らせ

2025年5月14日に公表いたしました2026年3月期通期（2025年4月1日～2026年3月31日）の業績予想と本日公表の同実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、本日開催の取締役会において、2026年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議し、2026年6月23日開催予定の第72回定時株主総会に付議することとしましたのでお知らせいたします。

1. 業績予想と実績との差異について

(1) 2026年3月期通期連結業績予想数値と実績との差異（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	25,000	2,200	2,530	1,730	116.58
実績値 (B)	25,152	2,323	2,780	1,858	125.19
増減額 (B - A)	152	123	250	128	
増減率 (%)	0.6	5.6	9.9	7.4	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	24,166	2,164	2,507	1,714	115.53

(2) 差異の理由

主力事業である管工機材セグメントにつきましては、新設住宅着工戸数が大きく前年割れする厳しい経営環境の中ではありましたが、重点販売製品の販売強化と主力製品群の売上確保に努めたことに加え、ハウスメーカーによる当社製品の新規採用などもあり、売上、利益とも概ね予定どおりの進捗となりました。一方、中期経営計画「SHIFT2026」において、成長セグメントとして位置付けている水・環境エンジニアリングセグメントにおいては、大型工事案件の工事進捗が予定どおりに進捗したことに加え、修繕などのメンテナンス業務についても年間を通して安定的な受注が図れたことなどから、当初想定していた業績を上回る結果となりました。これらのセグメント業績と政策保有株式の売却に伴う特別利益の発生などから、前回発表予想を上回る結果となりました。

2. 配当の内容

(1) 期末配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2025年5月14日公表)	前期実績 (2025年3月期)
基準日	2026年3月31日	同左	2025年3月31日
1株当たり配当金	40円00銭	35円00銭	39円00銭
配当金の総額	597百万円	-	582百万円
効力発生日	2026年6月24日	-	2025年6月25日
配当原資	利益剰余金	-	利益剰余金

(2) 理由

当社は、「持続的な成長と中長期的な企業価値の向上のため、投資に必要な資本を確保しつつ、積極的な株主還元を行っていくこと」を利益配分に関する基本方針としており、業績や財務状況などを総合的に勘案し、安定した経営基盤の確保により、高収益・高配当で株主の皆様への負託に応えることを経営の重要事項の一つとして位置づけております。この配当方針にはかり、中期経営計画「SHIFT 2026」の3か年における配当につきましては、1株につき50円の年間配当金を下限とし、業績に連動した配当水準の向上を図るべく、各年度の利益水準に応じて、配当性向60%を目安に実施させていただくこととしております。

上記の配当方針及び今回の業績を踏まえ、2026年3月期の期末配当金につきましては、前回予想から5円増配となる1株当たり40円となる予定です。なお、1株当たりの年間配当金は、既に実施済の中間配当金35円と合わせて、75円となる予定です。

(ご参考) 年間配当金の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
当期実績	35円00銭	40円00銭	75円00銭
前期実績 (2025年3月期)	30円00銭	39円00銭	69円00銭

以上